

※学識経験者の意見等

- 社会教育施設相互の展覧会に関わる情報の共有化は重要である。共有化することによって、学習者サービスにつながっていく。
- 所蔵品展などかなり工夫・努力がみられる。これからも、多様な視点から市内に存在する文化財などを把握して美術展の成果をあげて、美術のメリットを市民に伝えることが求められる。
- 今後も継続してグローバルな視点から外国人の来館者も見込める企画、広報活動に努めていく必要がある。美術館とその周辺の自然・文化環境、横須賀市内の観光資源との動線上の一体化をどうアピールしていくか、柔軟な発想に努めるとともに、学校教育における観光・文化をテーマした総合学習の推進・考案に繋げてほしい。

※学識経験者の意見等に対する今後の方向性

- 今後も継続して所蔵品、市ゆかりの作家の調査を深め、所蔵品展を特色づけるような展示に活かしていく。
- 現在行っている美術館、展覧会などの周知については、外国人も含め、来館者に伝わるような効果的な広報活動を今後も引き続き考えていきたい。
- さまざまな視点をもって展覧会に反映させていくために、関係部局と連携しながら情報の収集や協議をしていく。

No. 19	事業名	美術館教育普及活動の推進
--------	-----	--------------

1. 基礎情報

対応する重点課題	重点課題5:社会教育施設による学習支援の推進
掲載編	社会教育編
関連目標	目標5:図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
関連施策	施策(14):美術館活動の充実
担当課	美術館運営課

2. 事業の概要

美術への理解を深め、美術館に対して親しみを感じられるように美術館活動基本方針の5つの柱「知的好奇心の育成と充足」「福祉活動の展開」「学校との連携」「市民との協働」「子どもたちへの美術館教育」に基づく教育普及活動を行います。特に、学校等と連携して子どもたちの鑑賞教育を中心とした教育普及事業を充実させます。

3. 行動計画

項目		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
美術館活動の基本方針に基づくワークショップ、講演会など	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—
学校との連携による教育普及事業	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—

4. 実施内容(実績)および効果

○美術館活動の基本方針である5つの柱に基づき各事業を実施した。当館の教育普及事業が広く認知されてきたためか、事前申込制の事業には概ね定員以上の応募があった。内容についても、多様なプログラムに対し、多くの方が参加し好評を得た。

柱1「知的好奇心の育成と充足」では、企画展をより深く理解するための講演会やアーティストトーク、学芸員の作品解説(ギャラリートーク)、ワークショップ(WS)、映画上映会、シネマパーティーを行った。企画展「中村光哉展」では、学芸員によるギャラリートークの後、美術館レストランで参加者どうしが交流するプログラムを実施した。また、企画展「新宮晋の宇宙船」では、閉館後、エントランスホールにおいて映画上映会を開催した。「冬のシネマパーティー」でも上映場所としてエントランスホールを利用するなど、施設を有効活用する事業を検討・実施した。

柱2「福祉活動の充実」では、海外の美術館・博物館での先行事例を紹介する「福祉講演会」、障害者と健常者がともに美術に親しむことのできるWS、障害児者を対象に創作活動を行うWS、未就学児を対象としたWSなどを例年通り開催した。特に、平成28年度の福祉WSにおいては、見るだけでなく五感を重視したプログラムを行うという従来の方向性を発展させ、「嗅覚」をテーマに活動場所を屋外(観音崎公園)へと広げて、視覚障害者も参加できる内容で開催した。また、聴覚障害者と聴者が共同で公演を行う人形劇団を招き、公演及び劇団員との交流会を通して、障害者と健常者が共に生きることを考える事業を開催した。

柱3「学校との連携」では、市立小学校6年生全員が来館する「小学生美術鑑賞会」、夏休みの宿題にも対応した「中学生のための美術鑑賞教室」、市の造形教育研究会とともに、市立学校園の子どもたちの作品を展示する「児童生徒造形作品展」などを例年通り開催した。保育運営課と連携した市立保育園の鑑賞支援活動も、平成24年以降、継続して実施した。これらの活動を通して、市立学校園に通うより多くの子どもたちが、美術館に来館する機会を得られるようつとめた。特に、平成28年度は、企画展「自然と美術の標本展」開催に際して、近くに住む子どもたちの来館のきっかけとなるよう、近隣の小学校で出前WSを開催し、美術館で完成作品を展示した。なお、平成25年度に制作した「アートカード」は、市外の学校からも貸出し及び研修の依頼があり、その都度、要望に応じた対応を行った。

柱4「市民との協働」では、美術館ボランティアが中心となって、毎週日曜日の所蔵品展ギャラリートーク、小学生美術鑑賞会の受け入れ補助、障害児者対象のWS、年4回のイベント(GW、夏休み、ハロウィン、クリスマス)などを実施した。美術館では、ボランティア対象の研修を実施したり、イベントの企画会議に積極的に関わるなどして、その活動を多方面から支援した。

柱5「子どもたちへの美術館教育」では、企画展ごとの親子ギャラリートーク、親子WS、夏の野外映画上映会などを例年通り開催した。企画展「自然と美術の標本展」の関連事業として、市博物館の事業「基礎から学ぶ昆虫学」と連携した新しいかたちのWSを試みた。また、所蔵品展WSでは、普段あまり馴染みのない分野にも親しみが持てるよう、日本画の絵の具作りをテーマとして取り上げた。

5. 課題

- 子ども向けの事業については広く知られるところとなったが、その他の普及事業(福祉的な活動、学校との連携など)について、より多くの方に知ってもらう必要がある。
- 昨年度に引き続き、子どもたちの発達段階や、小中学生各学年の指導事項と合わせた鑑賞教育の研究および鑑賞プログラムの作成を進めていく。また、学校教育と連携していくために、教員向けプログラムも同時並行で研究・作成し、実施していく必要がある。
- 「児童生徒造形作品展」が70回目を迎えるにあたり、関連事業も含め、より一層充実した内容となるよう検討する。
- ギャラリートークボランティアが、その動機や目的意識を持続させるために、活動の機会を増やし、充実を図る。

6. 課題に対する今後の改善策

- 普及事業(特に福祉的な活動と学校連携)の認知度が上がるよう、広く周知する。
- 教員向けプログラムを検討・実施する。
- 造形教育研究会との連携を強化し、児童生徒造形作品展に教員が積極的に関わられるよう、関連事業を見直す。
- ボランティアによる所蔵品展ギャラリートークの実施日・時間等を検討し、見直す。

※学識経験者の意見等

- 多様な普及活動を実施していることがうかがえる。そしてそれなりに成果が徐々にではあるが出ていると考える。
- 美術館を拠点とした学びの循環に即応する学習相談、資料の収集、情報の提供、講座の企画などが一層求められる。
- 学芸員、社会教育施設職員などの取組を市民の側から把握できるようにしておくことが社会教育活動の重要性を知らせることになる。また、職員の実践活動の成果を具体的な教育活動に役立たせることは重要である。
- 話題になった博物館の特別展の展示目録が備わっていることも大事である。その展示目録に掲載されたものを学習することから、市民の学習支援になることが多い。
- 教育資料については、多様に収集されているが、江戸期、明治期、大正期などの資料が少ないのではないかと。特に、教育美術に関する資料の収集は非常に重要である。教育美術の領域は、まだ未開拓の分野でもあるが、どの程度存在するのか、把握しておくことは急務である。
- 昨年度指摘したようなデザイン思考を取り入れた問題解決的な(美術)授業、市民と協働したワークショップの展開など、各学校での図画工作、美術あるいは総合学習等は市内においてどのくらい実践されたであろうか。学校・教師の側から積極的にアートの専門家、関係者たちと協働作業を進めるなど、授業づくりにつないでいく必要がある。

※学識経験者の意見等に対する今後の方向性

- 児童生徒や教員を対象とした鑑賞活動の支援事業を中心に、今後も美術館を拠点とした学びの循環に向け取組を進めていく。
- 他館の展示記録については、図書室において、図録の収集・公開を行っている。今後もこの方向性を維持するとともに、ブックガイドの館内配架等を通じて、来館者がより利用しやすくなるように配慮する。
- 様々な教育資料の中で美術的価値の高いものがあり、これらを収集し保存していくことは重要な視点であると考えている。これらの存在について情報収集していくべきと考えている。
- 教員および学校教育に対しては、引き続き、美術館からも積極的な連携の働きかけを行っていく。

◆ 目標・施策に基づく関連事業

○ 点検・評価報告書の見方（関連事業）

- 2－1 目標・施策に基づく関連事業（学校教育編）
- 2－2 目標・施策に基づく関連事業（社会教育編）
- 2－3 目標・施策に基づく関連事業（スポーツ編）

○点検・評価報告書の見方(関連事業)

教育振興基本計画は全体を学校教育編・社会教育編・スポーツ編と3編に分かれており、各編ごとに区切って関連する事業すべてを点検・評価の対象としています。

2-3 目標・施策に基づく関連事業(スポーツ編)

スポーツ編の目標・施策に基づく関連事業について各事業の行動計画に対する実績を測ります。

目標3: 競技者の活動を支援するとともにスポーツ愛好者の裾野を拡大します

各目標の実現に向けての施策ごとに関連する事業を並べています。

各編ごとに、第2期実施計画期間である4年間(平成26年度～平成29年度)の目標を定めています。

施策(9)ホームタウンチームなどとの連携強化

事業名と担当課を記載しています。「○○事業」という表記の他に「○○の推進」や「○○の検討」などの表記をしている場合もあります。また、重点課題に対応する事業については、※にその旨を記載しています。

【関連事業】

事業名	よこすかドリーム・スポーツプロジェクト推進事業【スポーツ課】				
概要	本市のホームタウンチームである、横浜DeNAベイスターズ、横浜F・マリノス、東芝ブレイブサンダース神奈川などのトップレベルのスポーツ選手・コーチ達と直接授業で共に体を動かし触れ合うことで、子どもに夢と感動を与え、スポーツへの関心を高めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校訪問授業	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—
スポーツイベントへの参画	計画	依頼	依頼	依頼	依頼
	実績	依頼	依頼	依頼	—

(計画と実績が異なる場合の理由)

平成28年度計画に対しての、平成28年度の実績を記入しています。(実績と計画が異なる場合は、下記の枠にその理由を記載しています。)

外部の学識経験者からいただいたご意見を記載しています。

【本事業に対して学識経験者からいただいたご意見】

○本施策は、子どものスポーツへの関心を高める上で有効であり、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会等大規模国際大会の認知を進めると共に多様なスポーツ経験を提供するため、他の競技による実施可能性を検討されたい。

【ご意見に対しての今後の方向性】

○本事業は、ホームタウンへの地域貢献活動として各チームに実施していただいている。3チームには継続・発展的な事業展開をお願いするほか、他の競技については実施可能性を検討するとともに、体育協会等の団体にスポーツ経験の機会の提供をお願いしていく。

外部の学識経験者からいただいたご意見に対する担当各課の今後の方向性を記載しています。

2-1 目標・施策に基づく関連事業（学校教育編） における事業・行動計画実施状況

目標・施策に基づく関連事業（学校教育編）と、その事業を実施するための行動計画について、平成 28 年度の実施状況は以下のとおりです。

（学校教育編）

	総数	28 年度において計画どおり実施した数
関連事業	66	63
行動計画	165	162

2-1 目標・施策に基づく関連事業(学校教育編)

学校教育編の目標・施策に基づく関連事業について各事業の行動計画に対する実績を測ります。

目標1:子どもの学びを豊かにします

施策(1)教育活動の充実

【関連事業】

事業名	学力向上事業【教育指導課】【教育研究所】【教育政策担当(教育情報システム室)】
概要	「横須賀市学力向上推進プラン」に基づき、学力向上の取組の充実を図ります。 また、教員の授業力向上や人材育成を進めるための学校組織の活性化を推進します。
備考	※重点課題に対応する事業 27～29ページ参照

事業名	キャリア教育(注14)推進事業【教育指導課】				
概要	児童生徒一人一人に、望ましい職業観・勤労観および職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を身に付けさせるために、学校と地域および学校間で円滑な接続を図り、キャリア教育を推進します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
横須賀市キャリア教育推進協議会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—
よこすかキャリア教育推進事業事務局(横須賀商工会議所内)	計画	設置	設置	設置	設置
	実績	設置	設置	設置	—
キャリア教育担当者会(総括教諭等学校運営推進者連絡会)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—
各校のキャリア教育情報のイントラネットへの掲載	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—
小学生向け体験型教育支援プログラム	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—

事業名	防災教育推進事業【教育指導課】				
概要	東日本大震災の経験から、自分および他者の危険予測・危険回避の能力を育成するため防災教育の充実を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
防災教育指導資料集の作成・配布	計画	作成・配布	—	—	—
	実績	作成・配布	—	—	—
防災教育指導資料集の活用・実践	計画	—	実施	実施	実施
	実績	—	実施	実施	—
防災教育に関する研修会	計画	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催
	実績	年2回開催	年2回開催	年2回開催	—
防災教育推進モデル校	計画	設置	設置	設置	設置
	実績	設置	設置	設置	—

事業名	子ども読書活動推進事業【教育指導課】
概要	児童生徒の読書への関心や主体的な学習の力を高めるために、学校図書館機能の充実を目指し、学校図書館コーディネーター（いわゆる学校司書）等の配置や蔵書情報のデータベース化、教職員の研修の充実、市立図書館との連携を強化します。
備考	※重点課題に対応する事業 10、11ページ参照

事業名	学校人権教育推進事業【教育指導課】				
概要	人権教育の研修などの充実を図り、教員が人権尊重の理念について理解を深め、関係機関やNPO（注29）等と連携して、人権教育を推進します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人権教育研修講座	計画	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
	実績	年3回開催	年3回開催	年3回開催	—
人権教育指導者養成講座	計画	年3回開催	年3回開催	年3回開催	年3回開催
	実績	年3回開催	年3回開催	年3回開催	—
人権団体主催の研修会などへの参加	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—

事業名	道徳教育推進事業【教育指導課】				
概要	道徳教育の研修などの充実を図り、教員が道徳教育の指導上の諸問題を研究協議するなどしてその解明を図り、指導力を向上させることにより、道徳教育を推進します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
道徳教育連携推進講座	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—
道徳教育担当者会 (総括教諭等学校運営推進者連絡会)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—

事業名	食教育(注15)の推進【学校保健課(学校給食担当)】				
概要	子どもたちが「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、生涯にわたって健全な心と身体を培っていけるよう、食教育を進めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
教職員研修会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—
児童生徒、保護者、教職員の意識啓発	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—

事業名	安全、安心な学校給食の提供と充実【学校保健課(学校給食担当)】				
概要	安全、安心でおいしい学校給食を安定的に提供し、児童生徒の心身の健全な発達と食生活の改善に資するため、学校給食にかかわる諸課題に取り組み、学校給食の充実に図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
保護者へのアレルギー情報の提供などの対応	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—
学校給食にかかわる各種研修	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—
地産地消の普及啓発	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—
学校給食用食器の改善	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—

事業名	(仮称)横須賀給食弁当の実施【学校保健課(学校給食担当)】				
概要	中学校で行っているパン・弁当の注文販売であるスクールランチ(注30)に、教育委員会の管理栄養士が小学校給食をアレンジした献立の弁当を取り入れます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
(仮称)横須賀給食弁当	計画	試行	実施	実施	実施
	実績	試行	未実施	未実施	—
(計画と実績が異なる場合の理由) 中学校完全給食の実施が決定したため、平成28年度は当該事業を実施しなかった。					

事業名	喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教育の推進【学校保健課(保健体育課)】				
概要	喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教室を開催し、薬物乱用などが心身の健康に及ぼす影響について、児童生徒の理解を深めます。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教室	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—

事業名	教育課程研究会(注31)の実施【教育指導課】				
概要	各教育課程研究会を通して、教育課程(注11)の実施に伴う指導上の諸問題を研究協議し、その解明を図り、教員の指導力の向上に資するとともに、学校教育の改善および充実を目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
幼稚園教育課程研究会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—
小学校教育課程研究会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—
中学校教育課程研究会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—
高等学校教育課程研究会	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—

事業名	幼児教育充実事業【教育指導課】				
概要	市立幼稚園2園の「幼児教育センター的な役割」を強化し、その施設や機能を生かして子育て支援を充実させます。また、幼児期における教育課題に取り組んだ成果を市内に発信するとともに、療育相談センターなどと連携して障害のある子どもを受け入れる仕組みをつくり、市立幼稚園2園が「幼稚園教育のモデル的な役割」を担えるようにします。このような取り組みに加え、私立幼稚園、市立・私立保育所と連携して本市幼児教育の充実を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
子育て支援教室	計画	検討	検討	開催	開催
	実績	検討	検討	開催	—
公開保育・研究発表	計画	年2回実施	年2回実施	年2回実施	年2回実施
	実績	年2回実施	年2回実施	年2回実施	—
障害のある子どもの受け入れ	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—
幼稚園教育課程研究会を活用した私立幼稚園、市立・私立保育所との連携	計画	実施	充実	充実	充実
	実績	実施	充実	充実	—

事業名	横須賀総合高等学校教育改革事業【教育政策担当】				
概要	開校（平成15年）より10年を迎えた市立横須賀総合高等学校の今後の在り方を検討し、教育改革を進め、横須賀唯一の市立高校として特色ある学校教育の充実を図ります。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
横須賀市立高等学校教育改革検討委員会	計画	開催	—	—	—
	実績	開催	—	—	—
答申の実現に向けた取り組み	計画	答申を受けて検討	検討・実施	検討・実施	検討・実施
	実績	答申を受けて検討	検討・実施	検討・実施	—

事業名	教育施策調査研究事業【教育政策担当】				
概要	教育の充実を目指して、教育の現状把握や教育課題の解決を図るための調査・研究を行います。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
各種調査・研究	計画	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	実施	—

事業名	芸術鑑賞会の開催【教育指導課】				
概要	児童がよこすか芸術劇場・横須賀美術館で、優れた演奏や作品を鑑賞する機会を設け、豊かな心を育てることを目指します。				
行動計画		第2期実施計画			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
オーケストラ鑑賞会(5年生)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—
美術作品鑑賞会(6年生)	計画	開催	開催	開催	開催
	実績	開催	開催	開催	—